

<記載要領>

講じた措置の内容が完了した場合は完了した時期を、完了していない場合は完了予定の時期を記入してください(記載例:平成〇〇年〇月)

指摘項目		指摘等区分	意見・要望等	講じた措置	完了(予定)時期
資金前渡事務	精算事務について	指摘	精算事務が遅延しているものがあつたので、期限内に精算を行うこと。	指摘のとおり規則に基づいた事務処理を行い、精算事務に遅延がないよう改善した。	平成30年3月
		指摘	領収書が債権者からのものではない精算書があつたので、債権者からの領収書を添付すること。	今後、指摘のとおり適正な事務処理を行うよう徹底した。	平成30年3月
契約事務	契約書記載事項について (スマイルゼファー教室)	指摘	契約書に契約代金の支払方法等の記載がなかったので、規定に沿った事務処理を行うこと。	次回契約時(平成30年10月)に指摘の通り規定に沿った事務処理を行う。	平成30年10月
	請書の作成について (離乳食フードモデル購入)	指摘	請書が作成されておらず、見積書を請書に代えてもいなかったので、規定に沿った事務処理を行うこと。	請書を作成し、今後指摘のとおり規定に沿った事務処理を行う。	平成30年3月
	予定価格の設定について	指摘	執行伺における複数物品内訳書に予定価格が記載されていなかったため、適切な事務処理を行うこと。	複数物品内訳書に予定価格を記載し、指摘のとおり適正な事務処理を行う。	平成30年3月
	見積金額の提示について (浄化槽維持管理業務)	指摘	見積書の金額が総合体育館との合計額になっていたため、保健センター分だけの提出を求めること。	指摘のとおり、平成30年度執行伺時には、保健センター分のみを見積書を提出してもらった	平成30年4月

<記載要領>

講じた措置の内容が完了した場合は完了した時期を、完了していない場合は完了予定の時期を記入してください(記載例:平成〇〇年〇月)

指摘項目	指摘等区分	意見・要望等	講じた措置	完了(予定)時期	
業務仕様書の取扱いについて (健(検)診業務委託契約)	注意	業務仕様書が別冊になっていたが、契約書の一部として添付すること。	平成30年度契約においては、業務仕様書を別冊とせず契約書の一部とした。	平成30年4月	
備品の登録について	指摘	備品の登録手続きをしていないものがあったので、規定に沿った事務処理を行うこと。	備品については、現在確認中であり、結果に応じて迅速に対応する。	平成30年9月	
負担金額の根拠について (田川地域救急医療協議会)	検討	負担金額の積算根拠となるものがなかったため、事務局である県と協議を行い明確化された。	田川地区救急医療協議会会則に基づき支払いを行うものであり、負担金についても毎年度同協議会の信任を得ている。	平成30年3月	
課のマネジメントについて	職場専門研修について	注意	開催が低調な状況であるので、課の課題についてさらなる論議を深めるなど、より積極的な開催によって職員意識の高揚と職場研修風土の醸成に努めていただきたい。	庁外で開催される専門研修については、積極的な参加を推奨している。参加した職員については、フィードバック研修を行うこととしている。	平成30年3月
	職場人権研修について	注意	開催が低調な状況であるが、人権問題への取組は全体の奉仕者たる公務員の原点を学ぶものであり、全ての公務の基本に位置づけられるものであることを再認識し、積極的に取組を行っていただきたい。	平成30年3月に人権研修を実施しており、平成30年度以降についても毎年度実施する。	平成30年3月

<記載要領>

講じた措置の内容が完了した場合は完了した時期を、完了していない場合は完了予定の時期を記入してください(記載例:平成〇〇年〇月)

指摘項目	指摘等区分	意見・要望等	講じた措置	完了(予定)時期	
その他の特記事項	国保担当課との連携強化について	検討	<p>国保会計において、被保険者1人あたりの医療費は県(市町村)平均を上回り、一般会計からの繰入金も高い水準にあるため、国保担当課(市民課)と連携し、以下のことについて検討されたい。</p> <p>①特定健診受診率の向上のため、本市より高い水準にある飯塚市、嘉麻市の取組状況を分析し、採り入れること。</p> <p>②保健師の増員と効果的な配置について、総務課と十分協議を行うこと。</p> <p>③生きいき健康教室の分析結果を広く市民に公表し、健康教室を鋭意増加させてほしい。</p>	<p>①飯塚市、嘉麻市の取り組みについて、調査研究を行う。</p> <p>②保健師の増員については、平成28年度から総務課に要望をしており、鋭意協議を行っていく。</p> <p>③広報たがわ(6月15日号)に分析結果の公表を予定している。</p>	<p>①平成31年3月</p> <p>②平成30年3月</p> <p>③平成30年6月</p>
	がん検診の啓発等について	検討	<p>田川市は、がん死亡率が全国的に高い状況にあり、その反面、がん検診の受診率は低位にとどまっている。このため、平成30年度から、県下では初めてセット受診により負担額を軽減するサービスを導入したことは評価すべきであり、これを広く市民に周知・啓発し、受診率向上に繋げてほしい。</p>	<p>・セット検診を含む集団検診について、広報たがわ(4月1日号)に掲載した。</p> <p>・セット検診について記載した「健康づくりガイド」を広報たがわ(5月1日号)に折込み、全戸配布し、周知・啓発を行った。</p>	平成30年5月
	市立病院との連携強化について	検討	<p>市立病院(市民病院)を有する本市の特性・メリット面を積極的に活かし、病気や介護の予防など、市民の健康づくり全般において市立病院との連携強化に努めてほしい。</p>	<p>市立病院事業管理者には、田川市地域包括ケアシステム推進協議会の委員に就任して頂いている。</p> <p>また、地域福祉課長は、市立病院経営改善推進委員会にオブザーバーとして参加し、意見交換を行っている。</p> <p>今後も双方の事業において、連携を推進する。</p>	平成30年4月